

【資料】

平成28年度林業研究・技術開発推進北海道ブロック会議育種分科会および 特定母樹等普及促進会議

佐々木 洋一¹

「平成28年度林業研究・技術開発推進北海道ブロック会議育種分科会」及び「平成28年度特定母樹等普及促進会議」は、9月29日に札幌市内のかでる2・7において開催された。会議には、林野庁、北海道森林管理局、北海道庁、北海道立総合研究機構林業試験場、同林産試験場、森林総研北海道支所及び関係機関等が参加して行われた。概要は次のとおりである。

育種分科会

林木育種事業の最近の動向

林野庁より林木育種事業を巡る最近の動向として、苗木安定供給推進事業等の平成29年度概算要求について説明があった。また、森林・林業・木材産業分野の研究・技術開発戦略として、ニーズに応じた研究・技術開発の推進及び成果のフィードバック、関係機関間の連携及び産学官連携の推進について説明があった。

特定母樹等普及促進会議

特定母樹の増殖等について

林野庁より特定母樹の増殖等について、特定母樹の指定状況、特定母樹の増殖の実施の促進に関する基本方針の策定、民間事業者の参入促進に向けた攻めの基本方針づくりについて説明があった。

林木育種事業の推進について

林木育種センターより第4期中期計画に関して、多様な優良品種等の開発と育種基盤技術の強化、花粉症対策品種の開発推進、次期の林木育種推進計画の策定スケジュール、林木育種連携ネットワークについて説

明があった。

北海道育種基本区における特定母樹及びエリートツリーの開発について

北海道育種場からは北海道育種基本区における特定母樹増殖事業の取り組み状況について説明があった。また、北海道庁からはクリーンラーチの増産推進事業及び第2世代精英樹候補木と優良木の選抜状況について説明があった。

北海道育種基本区における平成27年度林木育種事業実施結果及び平成28年度計画

北海道育種場からは林木育種事業の概要として、採種園の造成・廃止及び管理、次代検定林調査、育種種子の生産と利用状況等について、それぞれ平成27年度の実績と平成28年度の計画の報告があった。また、平成28年度春期の国有林採種園及び道有林採種園の着花(果)状況について報告があった。

平成28年度育種事業・研究の概要と成果トピックス

北海道育種場から、森林総合研究所の第4期中期計画に基づいて、平成28年度に取り組む「林木の新品種の開発」、「林木の育種技術の開発」、「林木のジーンバンク事業」の計画及び「種苗の生産及び配布」の5カ年計画について説明があった。また、トピックスとして、幹重量(二酸化炭素吸収・固定能力)の大きいカラマツ品種の開発実績、トドマツ精英樹材質特性表の公開、国有林採種園における改良の取組み(雨紛雑種カラマツ採種園の路網整備等の状況、勝山カラマツ採種園の受光伐実施状況、上尾幌カラマツ採種園の路網整備状況、上足寄カラマツ採種園における着花促進処理の実施状況)が紹介された。

北海道立総合研究機構林業試験場より、今年度の研

¹ ささきよういち 森林総合研究所林木育種センター北海道育種場

究概要についての説明と、トピックスとして、北海道に適したコンテナ苗を活用した低コスト再造林技術の実証研究、林業用優良種子の安定確保に向けた採種園整備指針の策定等の紹介があった。

提案・要望事項

北海道庁や北海道山林種苗協同組合から、間伐特措法の特定母樹については現在指定されているグイマツに加え、北海道の主要な造林樹種であるカラマツ、トドマツ、アカエゾマツの開発、原種については採種園造成

のニーズに対応した安定供給の確保、道有採種園整備に対する支援、特定増殖事業者等への接ぎ木技術の指導、着花促進への情報提供・技術指導等を求める要望などが出された。

情報提供・その他

北海道育種場からは、平成28年9月6日～7日に開催された第54回北海道林木育種現地研究会の概要について報告があった。